



技連協ニュース

鎌倉市技能職団体連絡協議会
 発行責任者 会長 立川 雄蔵
 広報部会長 同上
 広報部会 高橋 剛
 事務局 鎌倉市御成町 18-10
 鎌倉市市民防災部商工課
 TEL 0467 (61) 3853

第50号

令和8年3月発行



東アジア文化都市開幕式典

披露された梯子乗りの様子

梯子乗りと木遣りを披露！

鎌倉市では、令和7年(2025年)に中国のマカオ特別行政区、湖州(こしゅう)市、韓国の安城(アンソン)市と共に「東アジア文化都市」として選出され、1年間に渡り文化都市交流を行ってきました。

「東アジア文化都市」とは、日中韓文化大臣会合での合意に基づき、日中韓3か国において、文化芸術による発展を目指す都市を選定し、その都市において、現代の芸術文化や伝統文化、また多彩な生活文化に関連する様々な文化芸術イベント等を実施するものです。

その取り組みの中で、令和7年(2025年)5月20日に鎌倉芸術館で開催された開幕式にて、鎌倉職組合の皆さんがオープニングで日本の文化公演として、「梯子乗り」と「木遣り」を披露しました。

毎年、出初式などで屋外にて披露されることが多い梯子乗りですが、壇上で行うと6mという高さが際立ち、とても迫力がありました！会場の皆さんも、体一つで次々と繰り出される技の数々、その圧巻のパフォーマンスを楽しそうに観覧し、大きな拍手に包まれていました。

また、文化交流事業の一環として、伝統鎌倉彫事業協同組合から推薦を受けた春峰(しゅんぼう)会の宍倉(ししくら)

さんと山水(さんすい)堂の小泉さんが、鎌倉の工芸家として、11月7日から9日まで、韓国・安城市で開催された「グローバル※工芸フェスティバル」へ参加されました。

このフェスティバルは、安城市で行われている、海外の工芸家とのアイデア協力やデザイン協力を通じた協働作品の制作・展示を行い、将来的には商品開発につなげるというプロジェクトのひとつです。

8月に始動した今回のプロジェクトにおいて、宍倉さんは安城市の韓紙工芸職人の方と2人のチームを、小泉さんは同じく安城市の釣り竿職人の方と、伝統的なアクセサリー職人の方と3人のチームを組まれました。別々の国で暮らす職人同士が話し合い、作品の方向性や展示方法等について約1日で案を作り、翌日にはそれについてのプレゼンテーションを行うという、極めて限られた時間で計画を立てました。帰国後は、SNSを通じて進捗を確認しながら各自作業を進め、ご自身の担当箇所が完成したものを韓国に送り、仕上げは韓国の職人の方がされたそうです。

※グローバル(glocal):《global(地球規模の)とlocal(地域的な)を合わせた語》地域性を考慮しながら、地球規模の視点で考え、行動すること。(出典:コトバンク)

(2面に続く)

(1面から)

伝統工芸の鎌倉彫が海を越えて韓国・安城市で文化交流



開幕式典に参加された皆さん

完成した作品は、先に述べた「グローバル工芸フェスティバル」で展示されました。穴倉さんは、「영×영」(ヨン バイ ヨン)という作品で、鎌倉彫と韓紙工芸が融合した指輪ケースを制作されました。なお、作品名には、「永遠」と「縁」の二つの意味が込められているそうです。小泉さんは、花弁等をアクセサリーで、茎を釣り竿で作成した花を、それぞれのブランドロゴが彫られた鎌倉彫の花器に挿して展示した「三本の矢」という作品を制作されました。

作品は、安城市で展示された後、東アジア文化都市閉幕式の際には、鎌倉芸術館でも展示されました。

参加した方へのインタビュー

穴倉さん

韓国、安城市の工芸交流プロジェクトに参加し、初めて他国、他業種の工芸家との協業は不安でしたが、一つのものを作る同じ目的を持つ事で、文化や言葉の壁を超えて交流出来ることを実感しました。



このプロジェクトを通して色々な出会いと経験を得て今後の活動に繋げて行きたいと思います。

◀ 穴倉さんのチームの作品

小泉さん

韓国・安城市の工芸家との交流プロジェクトに参加し、工芸が人と人を自然につないでくれる力をあらためて感じました。

言葉や文化は違っても、作品に向き合う眼差しや手仕事への向き合い方には、驚くほど

の共通点がありました。同じ工芸に携わる者として、伝統を残し続けることの難しさや迷いに共感する場面も多かったです。工芸が抱える課題は国を越えて通じ合い、その共有こそが次につながる一歩なのだと実感しました。



▲ 小泉さんのチームの作品

技能祭・秋の収穫まつりを合同開催！

令和7年(2025年)11月30日、今年度も天候に恵まれた中、山崎浄化センタースポーツ等広場で技能祭と秋の収穫まつりを合同で開催しました。

オープニングでは鎌倉鳶職組合と大船鳶職組合による木遣り唄が披露され、その後は皆さんそれぞれお目当てのブースへ!

鎌倉豆腐組合さんでは美味しい食べ方を教えてもらいつつ油揚げやお豆腐を買ったり、お子さまも参加できるコーナーはやは

り人気で、親子一緒にものづくりに挑戦したり、ひとりでもくくと泥団子を磨いたり…と色々な様子が見られました。

私は、鎌倉逗葉鍼灸マッサージ師会さんの施術を受けましたが、終わった後は身体がすっきりし、普段からできるマッサージや歩き方の注意点もレクチャーしていただき実践中です。

大人も子どもも楽しめる技能祭、次回もお楽しみにお待ちください!

各コーナーの紹介

●体験・実技・実演・展示コーナー

包丁研ぎ(有料)、木工品の即売：鎌倉建築組合
親子木工コーナーとペン立て作り(有料)：大船建築職組合
光る泥団子作り(有料)：鎌倉左官業組合
コースター作り：鎌倉畳工業組合
トラックガーデン：湘南建設組合鎌倉支部造園鎌倉分会
豆腐、油揚げ等の即売：鎌倉豆腐組合
鎌倉彫体験：伝統鎌倉彫事業協同組合
エンジンカットモデル展示：県自動車整備鎌倉支部

体験マッサージ、鍼灸体験：鎌倉逗葉鍼灸マッサージ師会

●相談コーナー

自動車何でも相談：県自動車整備鎌倉支部
東洋医学的健康相談：鎌倉逗葉鍼灸マッサージ師会

●無料配布コーナー

花苗 無料配布：鎌倉造園組合、湘南建設組合鎌倉支部造園鎌倉分会、さがみ農協鎌倉市青壮年部緑化部会

技能者表彰 5名が晴れの受賞！

令和7年(2025年)11月30日に令和7年度鎌倉市技能者表彰式が鎌倉武道館多目的室において開催されました。今年度も、鎌倉市優良農業者・漁業者表彰式に加え、鎌倉市農産物品評会受賞者表彰式も合同で実施しました。

技能者表彰は、永く同じ職業に従事して、技術の錬磨や後進の指導育成などにより、市民生活の向上に功績のあった技能者の功労



技能功労者・優秀技能者の皆さん

を讃えることによって、その社会的、経済的地位ならびに技術の向上を目的とした制度です。

今年度は技能功労者4名、優秀技能者1名の計5名の方々が表彰されました。

表彰式では、松尾市長や中澤市議会議長からお祝いの言葉があり、その後、受賞者一人ひとりに表彰状が授与されました。

表彰式終了後、記念撮影を行い、受賞者の皆さんには技連協から祝い菓子をお贈りしました。

技能功労者

職種	氏名	所属事業所
鎌倉彫塗師	森本 久男	浮彫社
建築関係技能士	川野 定信	小林工務所
大工	清水 勝	山正工務店
とび職	清澤 博幸	鳶弘

優秀技能者

職種	氏名	所属事業所
大工	米澤 寿人	米澤工務店

※敬称略

※職種名順。青年優秀技能者は該当者なし

小学校と教育支援教室にて技能体験活動を実施！



お豆腐作りを体験する御成小学校の児童の皆さん

当協議会では多くの会員が後継者不足を感じており、体験・学習の場の提供を要望している声があります。これを受け、若年層への技能

の周知啓発をより進めていくため、市立小・中学校での技能体験活動及び植木剪定ボランティアを実施しています。

今年度は秋以降に、技能体験として小学校4校と教育支援教室でお豆腐作り体験を実施しました。

お豆腐作り体験では、お豆腐の作り方やコツだけでなく、お豆腐についてのクイズ等、生徒のみなさんが楽しく学べる場を提供していただきました。また、今年度は初の試みとして、教育支援教室でも実施することができ、普段できない体験をすることが子どもたちの生活に刺激を与える機会となることを実感しました。

これからも貴重な体験を通して、各組合の活動を子どもたちや地域の皆さんに知っていただくだけでなく、未来の職さんの誕生のきっかけとなれるよう、今後も継続して体験の場を提供していきます。

教育支援教室 担当者の声 ～お豆腐作り体験を通して～

教育支援教室「ひだまり」で、初の試みとなる「お豆腐作り体験」を実施しました。大豆を豆腐にする過程を見たり、にがりを舐めたり、普段はできない経験に、子どもたちは興味深く取り組んでいました。できたてのお豆腐がほんのり甘

いことにびっくりしたようです。

このような経験が「食育」に繋がる貴重な体験となりました。また、地域の方と交流を持てたことは、子どもたちの視野を広げ、生きる力を育む大切な機会になりました。

加盟組合のご紹介

◆鎌倉左官業組合◆

鎌倉左官業組合では、技能祭での泥団子づくりを通して、子どもたちに左官の楽しさやものづくりの魅力を伝える活動を行っています。

また、学校へ出張授業では塗り壁体験を実施し、伝統的な左官技術に触れながら、ものづくりの面白さや大切さを身近に感じてもらえるよう取り組んでいます。

今後も地域の皆さまと関わりながら、左官技術の普及と継承に努めてまいります。

◆鎌倉造園組合◆

昭和22年設立。12の熟練事業者が伝統技術で古都の緑を守ります。資格取得支援や後継者育成、研鑽会を通じた品質・安全性の向上に注力。関連団体と連携し、伝統と革新で持続可能な景観形成に貢献してまいります。

◆伝統鎌倉彫事業協同組合◆

当組合は、江ノ電和田塚駅のそばにある「鎌倉彫工芸館」に事務局を置き、鎌倉彫に関する情報やノウハウを広く発信しています。なお今年11月、みなとみらい「パシフィコ横浜」で開催される

「KOUGEI EXPO in KANAGAWA」への参加が決定しております。ご来場の程よろしくお願いたします。

◆神奈川県理容生活衛生同業組合鎌倉支部◆

理容鎌倉支部は、歴史と文化のまち鎌倉に根ざし、地域の皆さまに安心・安全で質の高い理容サービスを提供することを目的に活動しています。

支部員同士の連携を大切にし、技術・接客・衛生管理の向上を図る講習会や研修を実施するとともに、理容業界の健全な発展に努めています。

また、地域の社会貢献活動を通じて、理容店が身近で信頼される存在であり続けることを目指しています。

理容鎌倉支部は、伝統を大切にしながら、時代のニーズに応える理容文化をこれからも地域とともに育んでまいります。

◆鎌倉生花商組合◆

鎌倉生花商組合は鎌倉市内で生花業を営む12店舗で構成されています。

神奈川県生花小売商協同組合鎌倉支部も兼ねていますので、神奈川県の実業や鎌倉市の事業などで花が必要な場面でご協力をしております。

技連協一年間の主な活動

- ▶ 5月26日 第1回三役会開催
- ▶ 6月24日 常任理事会開催
- ▶ 7月16日 総会開催
- ▶ 8月4日 第2回三役会開催
- ▶ 9月4日 小・中学校技能体験活動
- ▶ 11月30日 技能祭開催／鎌倉市技能者表彰式開催協力
- ▶ 1月16日 賀詞交換会
- ▶ 3月31日 技連協ニュース第50号発行

新役員のご紹介

前役員の退任等に伴い、新たに就任された役員をご紹介します。

- 会計 馬瀬 和晃（鎌倉左官業組合）
- 監査 津田 一郎（湘南建設組合鎌倉支部造園鎌倉分会）
- 事業部会 飯村 文一（大船鳶職組合）
柿澤 昭治（鎌倉料理飲食業組合）
- 広報部会 高橋 剛（鎌倉豆腐組合）

鎌倉市技能職団体連絡協議会加盟組合

鎌倉市技能職団体連絡協議会（略称「技連協」）では、技能職者の優れた技能・技術を市民の皆様の生活に役立てていただけるよう活動を行っています。

鎌倉市技能者表彰でも毎年多くの加盟技能職者が、優れた技能をもつ技能者として表彰されています。

現在、28組合が加盟しており、様々な分野で活動をしていますので、熟練の技術を是非ご利用ください。加盟組合の連絡先は市のホームページをご覧ください。



加盟組合連絡先
(市ホームページ)

- ・鎌倉建築組合
- ・大船建築職組合
- ・鎌倉左官業組合
- ・鎌倉畳工業組合
- ・神湘タイル組合
- ・鎌倉鳶職組合
- ・大船鳶職組合
- ・鎌倉表具師会
- ・鎌倉市管工事業協同組合
- ・鎌倉石工組合
- ・鎌倉造園組合
- ・湘南建設組合鎌倉支部造園鎌倉分会
- ・鎌倉豆腐組合
- ・伝統鎌倉彫事業協同組合
- ・神奈川県自転車商協同組合鎌倉支部
- ・神奈川県クリーニング生活衛生同業組合鎌倉支部
- ・鎌倉美容組合
- ・さがみ農協鎌倉市青壮年部緑化部会
- ・湘南瓦屋根工事組合鎌倉支部
- ・神奈川県土建一般労働組合湘南支部
- ・神奈川県自動車整備鎌倉支部
- ・湘南建設組合鎌倉支部大船東分会
- ・湘南建設組合大船南分会
- ・神奈川県理容生活衛生同業組合鎌倉支部
- ・湘南建設組合大船泉分会
- ・鎌倉料理飲食業組合
- ・鎌倉生花商組合
- ・鎌倉豆葉鹹炙マッサージ師会

令和7年6月1日現在
計28組合 914人